

喜多方市 生涯学習登録講師リスト

3 郷土・歴史に関すること

講師 番号	氏名	フリガナ	肩書	指導内容など	対象者						
					子 ども	青 少 年	一 般	親 子	高 齢 者	そ の 他	その他の内容
6	阿部 登美子	アベ トミコ	ティーエキスパート協会マ スターティーエキスパート	紅茶の美味しい淹れ方、イギリス紅茶文化、イギリス 紅茶歴史			○				
16	石田 明夫	イシダ アキオ	會津藩校日新館館長・日 本考古学協会員・会津ユネ スコ協会事務局長・一般社 団法人会津歴史観光ガイ ド協会理事長・喜多方市瓜 生若子刀自顕彰会顧問	全会津を対象としています	○	○	○	○	○		
22	遠藤 仁	エンドウ ジン	梵天祭保存会長	磐梯山噴火の頃、加納鉱山、地元熱塩のこと			○				
28	大塚 セイ子	オオツカ セイコ	会津歴史研究会会長、会 津文化団体連絡協議会理 事、会津おもてなし企画代 表、会津若松まちなか散策 ガイドの会代表	会津を中心とした歴史全般	○	○	○	○	○		
32	岡田 峰幸	オカダ ミネユキ	歴史研究家	日本史							
34	小椋 武	オグラ タケシ	元高校教師	喜多方の偉人(大塩平左衛門) 分かりやすい文章の書き方、正しい日本語の使い方 についての講話・指導。東北方言の特徴、方言の語 源・意味についての講話			○				
35	小澤 弘道	オザワ ヒロミチ	民俗芸能を継承するふく しまの会理事、日本民俗建 築学会評議員、福島県民 俗学会監事	民俗学(郷土の伝承＝民間信仰、年中行事、昔話伝 承、伝説ほか)、山岳信仰(飯豊山信仰の歴史など)、 民家建築と会津の大工、添川廉斎、民俗芸能の継承 活動			○				
37	笠井 尚	カサイ タカシ	広告代理店経営、会津の 思想史研究家	「会津人探究」の本で論じています		○	○				
39	金親 丈史	カネオヤ タケシ	会津建築工芸舎代表、喜 多方市定住コンシェルジュ (2011年～)、一般社団法 人IORI倶楽部事務局長 (2013年～)、総務省地 域力創造アドバイザー (2015年～)	地域の素材や技術を活かしたまちづくり・住まいづ くりのプロデュース。喜多方の蔵や民家の歴史的価 値の見直し。			○				
41	冠木 昭子	カブキ アキコ	会津型研究会会長・染織 工房れんが代表	喜多方市・福島県の文化財、会津型型紙について調 査研究の活用	○	○	○	○	○		
44	北見 剛央	キタミ タケオ	会津蒔絵師	会津伝統工芸(蒔絵)を体験いただけます。漆のお椀 やお皿カトラリー等に絵を描いて自分だけのオリジ ナル漆器を作ってみませんか。	○	○	○	○	○		
70	齋藤 法政	サイトウ ヒロマ サ	鷹匠,ドッグセラピー	鷹を実際に見て、触れて、フライトショーで飛んでい るところを見たり、クイズ形式で鷹の生態や歴史を 学べます。又、犬と触れ合い情操豊かな子、リラック ス効果を得てみませんか。	○	○	○	○	○		
79	佐藤 一志	サトウ ヒトシ	会津心の教育を考える会 会長	江戸時代の古文書(江戸の訓育書、石門心学、四書 五経など)の収集と研究。江戸の町の生活や文化に 関する文献の収集と研究。道徳教育関係全般。	○	○	○	○	○		
135	星 宏一	ホシ コウイチ	小田付まちづくり協議会 事務局	蔵の町喜多方の成り立ち、現状の問題点。蔵や古民 家を活かしたまちづくりの現状と将来展望。		○	○				
151	山口 勝男	ヤマグチ カツオ	会津喜多方郷土史研究	喜多方の偉人(物江 浩)、古屋敷遺跡、会津三十三 観音	○	○	○	○	○		
152	山口 健次	ヤマグチ ケンジ	メグスリノキ巨樹巨木保全 協議会会長	地域振興に対する考え方	○	○	○		○		地域振興 町 起こし
153	山崎 四朗	ヤマザキシロウ	元県文化財保護指導員、 元喜多方市史編集専門委 員	中世史の調査。耶麻郡域の城館調査。荘園制の遺構 調査。 自由民権運動喜多方事件の研究・顕彰のとりくみ。			○				

喜多方市 生涯学習登録講師リスト

3 郷土・歴史に関すること

講師 番号	氏名	フリガナ	肩書	指導内容など	対象者					
					子 ども	青 少 年	一 般	親 子	高 齢 者	そ の 他
157	吉田 博行	ヨシダ ヒロユキ	会津坂下町教育委員会文化班調査員	考古学			○			